



<p>調査研究</p> <p>・</p> <p>審議の経過</p>	<p>1 審議経過の概要</p> <p>(1) 審議の対象となった発行者名及び数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東書、教出、光村、日文、学研、廣あかつきの6者 <p>(2) 調査研究の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回調査委員会（7月8日）で6者の教科書を配付し、調査の観点や手順を協議した。 ・第2回調査委員会（8月3日・4日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式1について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式2、様式3を作成した。 <p>(3) 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取扱内容については、それぞれの学習活動を通じて、生命の尊厳について、生命あるすべてのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができよう取り上げられているか、自然については、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができよう取り上げられているか、伝統と文化については、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができよう取り上げられているか、情報化への対応については、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ例えば考えを深めることができよう取り上げられているか、という視点で調査し整理した。 ・内容の構成・排列等については、言語活動、問題解決的な学習、体験的な学習についてどのような工夫がなされているかという視点で調査し整理した。 ・使用上の配慮等については、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されているか、自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか、という視点で調査し整理した。
<p>全体を通じての特徴</p>	<p>2 審議経過の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東書については、各学年に、学期ごとに学習したことを振り返ることができる「自分の学びをふり返ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされているという特色があり優れている。 ・教出については、各学年に、教材ごとに記入する「道徳の学びを記録しよう」や学期末や学年末に使用する「道徳の学びを振り返ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされているという特色があり優れている。 ・光村については、各学年に、教材ごとに記入する「学びの記録」や1年間の学びを振り返る「道徳の学びを振り返ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされているという特色があり優れている。 ・日文については、各学年の別冊に、印象に残った学習とその理由を記入する、「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされているという特色があり優れている。 ・学研については、各学年に、自分を見つめる「マイプロフィール」や心の成長を振り返る「心の四季」を配置し、自らの道徳性にかかわる成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされているという特色があり優れている。 ・廣あかつきについては、各学年の別冊に、心に残った教材やその理由を記入する「心に残っている授業の記録」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされているという特色があり優れている。

特別な教科 道徳の目標について

【教科の目標】

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

【内容項目】

- A 主として自分自身に関すること
 - [自主、自律、自由と責任]
 - [節度、節制]
 - [向上心、個性の伸長]
 - [希望と勇気、克己と強い意志]
 - [真理の探究、創造]
- B 主として人との関わりに関すること
 - [思いやり、感謝]
 - [礼儀]
 - [友情、信頼]
 - [相互理解、寛容]
- C 主として集団や社会との関わりに関すること
 - [遵法精神、公德心]
 - [公正、公平、社会正義]
 - [社会参画、公共の精神]
 - [勤労]
 - [家族愛、家庭生活の充実]
 - [よりよい学校生活、集団生活の充実]
 - [郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度]
 - [我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度]
 - [国際理解、国際貢献]
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること
 - [生命の尊さ]
 - [自然愛護]
 - [感動、畏敬の念]
 - [よりよく生きる喜び]

【参考】

○ 目標の改善

道徳教育の目標と道徳科の目標を、各々の役割と関連性を明確にするため、道徳科の目標を「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」として、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の目標と同一であることが分かりやすい表現にするとともに、従前、道徳の時間の目標に定めていた「各教科等との密接な関連」や「計画的、発展的な指導による補充、深化、統合」は、「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」に整理した上で、表現を改めた。

また、道徳的価値について自分との関わりも含めて理解し、それに基づいて内省し、多面的・多角的に考え、判断する能力、道徳的心情、道徳的行為を行うための意欲や態度を育てるという趣旨を明確化するため、従前の「道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め」ることを、学習活動を具体化して「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習」と改めた。

さらに、これらを通じて、よりよく生きていくための資質・能力を培うという趣旨を明確化するため、従前の「道徳的実践力を育成する」ことを、具体的に「道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」と改めた。

○ 標準授業時数

第1学年－35単位時間 第2学年－35単位時間 第3学年－35単位時間

様式 3

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年	道徳・701 道徳・801 道徳・901	新訂 新しい道徳1 新訂 新しい道徳2 新訂 新しい道徳3
<p>取扱内容</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科 各学年 の目標、内容等</p>	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 今までに、命の大切さやありがたさを実感したのは、どのようなときかを考える活動</p> <p>第2学年～ 生命の尊さを心に刻んで生きていくためには、どのような気持ちが大切かを考える活動</p> <p>第3学年～ 命を大切に生き抜いていくためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 自分たちと自然とのつながりを感じるのは、どのようなときかを考える活動</p> <p>第2学年～ 野生の生き物などを含め、自然とどのように関わっていくことが大切かを考える活動</p> <p>第3学年～ 自分が関わっていくことができる自然を守る活動には、どのようなものがあるかを考える活動</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 郷土に住み、郷土の一員であることを実感できるのは、どのようなときかを考える活動</p> <p>第2学年～ 郷土のために自分ができることは、どのようなことがあるかを考える活動</p> <p>第3学年～ 自分たちの郷土には、どのような伝統や文化が受け継がれているかを考える活動</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ インターネットを扱い、情報を発信するときには、どのようなことに配慮する必要があるかを考える活動</p> <p>第2学年～ メッセージアプリを扱い、友達との友情を育てていくためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第3学年～ SNSを扱い、メッセージのやりとりを通して友達との関係をよくするためには、どのようなことに配慮する必要があるかを考える活動</p>			
<p>内容の構成・ 排列・ 分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、考えを深めるための話し合いの手順を示す「話し合いの手引き」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技による学習を示す「アクション」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 主として自分自身に関することは36ページ、主として人との関わりに関することは30ページ、主として集団や社会との関わりに関することは67ページ、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関することは40ページ、複数の内容項目が含まれている教材等は16ページであり、総ページ数は189ページで、前回との増減は約4パーセント増となっている。</p>			

	<p>第2学年～ 主として自分自身に関することは30ページ、主として人との関わりに関することは37ページ、主として集団や社会との関わりに関することは72ページ、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関することは45ページ、複数の内容項目が含まれている教材等は13ページであり、総ページ数は197ページで、前回との増減は約4パーセント増となっている。</p> <p>第3学年～ 主として自分自身に関することは35ページ、主として人との関わりに関することは33ページ、主として集団や社会との関わりに関することは78ページ、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関することは38ページ、複数の内容項目が含まれている教材等は13ページであり、総ページ数は197ページで、前回との増減は約4パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に、学期ごとに学習したことを振り返ることができる「自分の学びをふり返ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「道徳の授業はこんな時間に」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、「Dマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年	道徳・702 道徳・802 道徳・902	中学道徳1 とびだそう未来へ 中学道徳2 とびだそう未来へ 中学道徳3 とびだそう未来へ
<p>取扱内容</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等</p>	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 人は、何のためにこの世に生まれ、何のために今を生きているのかを考える活動</p> <p>第2学年～ 命のある限り精一杯生きることとは、どのように生きることかを考える活動</p> <p>第3学年～ 命の重さと向き合っていくためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 身近な自然を守るために、自分にはどのようなことができるかを考える活動</p> <p>第2学年～ 自然環境の保護のために、自分にはどのようなことができるかを考える活動</p> <p>第3学年～ 人間が生活していくことと、自然を守ることには、どのような関わりがあるかを考える活動</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 地域に昔からある伝統や文化を守っていくことは、なぜ大切なのかを考える活動</p> <p>第2学年～ 伝統の継承や新しい文化の創造のためには、どのようなことが必要かを考える活動</p> <p>第3学年～ 日本の伝統や文化で受け継いでいきたいもの、世界に発信したいものには、どのようなものがあるかを考える活動</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ インターネットを扱い、ルールやマナーは、自分たちの生活になぜ必要なのかを考える活動</p> <p>第2学年～ SNSを扱い、よりよく利用していくことで、得られることは何かを考える活動</p> <p>第3学年～ スマートフォンや携帯電話を扱い、よりよく利用していくためには、どのようなことが大切かを考える活動</p>			
<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、考えを深めるための話合いの視点を示す「学びの道しるべ」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技や日常の体験を想起して話し合う活動を示す「やってみよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 主として自分自身に関することは43ページ、主として人との関わりに関することは41ページ、主として集団や社会との関わりに関することは71ページ、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関することは40ページ、複数の内容項目が含まれている教材等は13ページであり、総ページ数は208ページで、前回との増減は約7パーセント増となっている。</p>			

	<p>第2学年～ 主として自分自身に関することは33ページ、主として人との関わりに関することは33ページ、主として集団や社会との関わりに関することは92ページ、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関することは21ページ、複数の内容項目が含まれている教材等は13ページであり、総ページ数は192ページで、前回との増減は約8パーセント増となっている。</p> <p>第3学年～ 主として自分自身に関することは23ページ、主として人との関わりに関することは30ページ、主として集団や社会との関わりに関することは89ページ、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関することは37ページ、複数の内容項目が含まれている教材等は13ページであり、総ページ数は192ページで、前回との増減は約8パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に、教材ごとに記入する「道徳の学びを記録しよう」や学期末や学年末に記入する「道徳の学びを振り返ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「道徳科で学びを深めるために」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、「まなびリンク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	38・光村	第1学年 第2学年 第3学年	道徳・703 道徳・803 道徳・903	中学道徳1 きみがいちばん ひかるとき 中学道徳2 きみがいちばん ひかるとき 中学道徳3 きみがいちばん ひかるとき
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 身近な生き物の命を尊重するためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第2学年～ 生きていることが当たり前ではないと感じるのは、どのようなときかを考える活動</p> <p>第3学年～ 生きている間に命を大切にするためには、どのような生き方をすべきかを考える活動</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 人と自然がよりよい関係を築くためには、どのような考えが必要かを考える活動</p> <p>第2学年～ 美しい自然環境を守っていくためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第3学年～ 自然環境を守るために、環境破壊などの問題に、どのように取り組んでいくべきかを考える活動</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 自分が住む郷土の伝統や文化をつくり、継承してきた先人には、どのような思いがあったかを考える活動</p> <p>第2学年～ 郷土の伝統や文化を守り、発展させるためには、自分にはどのようなことができるかを考える活動</p> <p>第3学年～ 郷土の伝統や文化を継承していくためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ スマートフォンを扱い、立場の異なる人と関わり合うためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第2学年～ 携帯電話やスマートフォンを扱い、上手に利用していくためには、どのような心構えが必要かを考える活動</p> <p>第3学年～ インターネットを扱い、情報を発信するときには、どのようなことに配慮する必要があるかを考える活動</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、多面的・多角的な見方や考え方による話し合いの視点を示す「見方を変えて」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年で、道徳的な問題を解決するためにどうすればよいかを考える発問を示す教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、道徳的行為に関する体験的な学習を示す「人と人との関係づくり」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 主として自分自身に関することは30ページ、主として人との関わりに関することは42ページ、主として集団や社会との関わりに関することは59ページ、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関することは33ページ、複数の内容項目が含まれている教材等は20ページであり、総ページ数は184ページで、前回との増減は約18パーセント減となっている。</p>			

	<p>第2学年～ 主として自分自身に関することは43ページ、主として人との関わりに関することは34ページ、主として集団や社会との関わりに関することは62ページ、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関することは33ページ、複数の内容項目が含まれている教材等は20ページであり、総ページ数は192ページで、前回との増減は約14パーセント減となっている。</p> <p>第3学年～ 主として自分自身に関することは41ページ、主として人との関わりに関することは30ページ、主として集団や社会との関わりに関することは65ページ、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関することは30ページ、複数の内容項目が含まれている教材等は26ページであり、総ページ数は192ページで、前回との増減は約17パーセント減となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に、教材ごとに記入する「学びの記録」や1年間の学びを振り返る「道徳の学びを振り返ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、教材ごとに多面的・多角的に考えを広げたり、深めたりするための学習のめあてを示す「てびき」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
<p>取 扱 内 容</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等</p>	<p>116・日文</p>	<p>第1学年 第2学年 第3学年</p>	<p>道徳・704、道徳・705 道徳・804、道徳・805 道徳・904、道徳・905</p>	<p>中学道徳 あすを生きる1、中学道徳 あすを生きる1 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる2、中学道徳 あすを生きる2 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる3、中学道徳 あすを生きる3 道徳ノート</p>
<p>内 容 の 構 成 ・ 排 列 、 分 量 等</p>				<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 人とつながって生きている自分とは、どのような存在であるかを考える活動を通して、生命の大切さについての考察し表現する。</p> <p>第2学年～ 自分の周りにおける支え合う生命には、どのようなものがあるかを考える活動を通して、支え合う心情について考察し表現する。</p> <p>第3学年～ 命のつながりや命をつないでいくこととは、どのようなことかを考える活動を通して、生命の尊厳について考察し表現する。</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 雄大な自然に対して、今の自分には、どのようなことができるかを考える活動を通して、自然の愛護を進める態度について考察し表現する。</p> <p>第2学年～ 自然の美しさや偉大さに接したときに、どのような思いになるかを考える活動を通して、自然を守り大切にすることを態度について考察し表現する。</p> <p>第3学年～ 日頃から考えている人の力を超えた自然の力は、どのようなものがあるかを考える活動を通して、自然環境の維持について考察し表現する。</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 自分が住んでいる地域の伝統や文化の意味があるかを考える活動を通して、主体的に郷土に関わるうとする態度について考察し表現する。</p> <p>第2学年～ 郷土の伝統や文化を絶やさない様にするかを考える活動を通して、郷土の発展に努めようとする態度について考察し表現する。</p> <p>第3学年～ 伝統や文化を受け継ぐために大切なことについて考える活動を通して、社会の一員としての帰属意識に関して考察し表現する。</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ スマートフォンを扱い、自ら尊重したいルールについて考える活動を通して、自他の権利を重んじることにに関して考察し表現する。</p> <p>第2学年～ SNSを扱い、本当の友達になるために、どのようなことが大切かを考える活動を通して、友人とともに高め合うことにに関して考察し表現する。</p> <p>第3学年～ インターネットを扱い、相手の気持ちを考えた行動について考える活動を通して、思いやりを持つ態度について考察し表現する。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年の別冊に、自分や友達の考えを記入する欄を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、道徳的な問題の解決に向けた話合いの手順を示す「学習の進め方」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、道徳的行為に関する体験的な学習の流れを示した「学習の進め方」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 主として自分自身に関することは37ページ、主として人との関わりに関することは41ページ、主として集団や社会との関わりに関することは78ページ、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関することは41ページ、複数の内容項目が含まれている教材等は34ページであり、総ページ数は231ページで、前回との増減はない。</p>

	<p>第2学年～ 主として自分自身に関することは32ページ、主として人との関わりに関することは39ページ、主として集団や社会との関わりに関することは81ページ、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関することは43ページ、複数の内容項目が含まれている教材等は36ページであり、総ページ数は231ページで、前回との増減はない。</p> <p>第3学年～ 主として自分自身に関することは31ページ、主として人との関わりに関することは34ページ、主として集団や社会との関わりに関することは96ページ、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関することは39ページ、複数の内容項目が含まれている教材等は31ページであり、総ページ数は231ページで、前回との増減はない。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の別冊に、印象に残った学習とその理由を記入する「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「道徳科で学ぶこと」や「道徳科での学び方」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、インターネットへリンクする「マーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
<p>取 扱 内 容</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科 各学年 の目標、内容等</p>	224・学研	第1学年 第2学年 第3学年	道徳・706 道徳・806 道徳・906	新・中学生の道徳 明日への扉 1 新・中学生の道徳 明日への扉 2 新・中学生の道徳 明日への扉 3
<p>内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等</p>	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 命の偶然性や連続性、有限性について、自分はどのようなことを感じるかを考える活動</p> <p>第2学年～ 生命の誕生に関わる話を聞いたり写真を見たりしたとき、自分はどのようなことを感じるかを考える活動</p> <p>第3学年～ 自分にとって、命を大切にすることは、どのようなことを考える活動</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 自然環境に関わる課題に取り組んでいくために、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第2学年～ 一度壊れてしまった自然環境を再生するためには、どのようなことが必要かを考える活動</p> <p>第3学年～ 環境問題を解決するために、自分たちは、どのように自然と関わればよいかを考える活動</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 日本人が日本の伝統や文化を継承することには、どのような意義があるかを考える活動</p> <p>第2学年～ 自分が住んでいる地域を誇りに思うときは、どのようなときかを考える活動</p> <p>第3学年～ 地域にある伝統や文化の継承に、自分はどのように関わっていくことができるかを考える活動</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自立、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ スマートフォンを扱い、自分で自分の生活をコントロールするためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第2学年～ SNSを扱い、異なる意見を尊重するためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第3学年～ インターネットを扱い、周りの人の権利を損なわないようにするためには、どのようなことに気をつけなければならないかを考える活動</p>			

	<p>第2学年～ 主として自分自身に関することは44ページ、主として人との関わりに関することは32ページ、主として集団や社会との関わりに関することは60ページ、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関することは38ページ、複数の内容項目が含まれている教材等は21ページであり、総ページ数は195ページで、前回との増減は約6パーセント増となっている。</p> <p>第3学年～ 主として自分自身に関することは38ページ、主として人との関わりに関することは38ページ、主として集団や社会との関わりに関することは60ページ、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関することは36ページ、複数の内容項目が含まれている教材等は23ページであり、総ページ数は195ページで、前回との増減は約6パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に、自分を見つめる「マイプロフィール」や心の成長を振り返る「心の四季」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「考えを深める四つのステップ」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	232・廣あかつき	第1学年 第2学年 第3学年	道徳・707、道徳・708 道徳・807、道徳・808 道徳・907、道徳・908	中学生の道徳 自分を見つめる1、中学生の道徳ノート自分を見つめる1 中学生の道徳 自分を見つめる2、中学生の道徳ノート自分を見つめる2 中学生の道徳 自分を見つめる3、中学生の道徳ノート自分を見つめる3
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ この世に生まれてきたことや、今、生きていることについて、どのように感じているかを考える活動</p> <p>第2学年～ 命を大切にすることについて、立場や状況によって考えが異なる中で、生命の尊厳を守るためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第3学年～ 人の生死に対して多様な考えがある中で、生命の尊厳を守るためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 社会が変化する中で、人々は、自然に関するどのような問題を見落とししてきたかを考える活動</p> <p>第2学年～ 自然がもつ美しさや偉大さについて、自分はどのように感じるかを考える活動</p> <p>第3学年～ 人間の営みと自然の営みが共存していくためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 郷土の特色の維持や発展のために、自分はどのようなことをしているかを考える活動</p> <p>第2学年～ 長く受け継がれてきた郷土の伝統や文化には、そこに住む人々のどのような思いが込められているのかを考える活動</p> <p>第3学年～ 郷土の発展のために、自分にできることは、どのようなことがあるかを考える活動</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ インターネットを扱い、利用する際に、自主性や自律性、自由と責任を大切にしなければならないのはなぜかを考える活動</p> <p>第2学年～ SNSを扱い、情報機器に振り回されないようにするために、どのようなことを心がけるとよいかを考える活動</p> <p>第3学年～ スマートフォンを扱い、インターネットの利用に際して、どのような責任が伴うかを考える活動</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年の別冊に、感じたことや考えたことを記入する欄を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技による学習に取り組むことができる教材を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 主として自分自身に関することは43ページ、主として人との関わりに関することは39ページ、主として集団や社会との関わりに関することは51ページ、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関することは39ページ、複数の内容項目が含まれている教材等は52ページであり、総ページ数は224ページで、前回より約6パーセント減となっている。</p>			

	<p>第2学年～ 主として自分自身に関することは32ページ、主として人との関わりに関することは28ページ、主として集団や社会との関わりに関することは61ページ、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関することは29ページ、複数の内容項目が含まれている教材等は58ページであり、総ページ数は208ページで、前回より約6パーセント減となっている。</p> <p>第3学年～ 主として自分自身に関することは34ページ、主として人との関わりに関することは23ページ、主として集団や社会との関わりに関することは58ページ、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関することは31ページ、複数の内容項目が含まれている教材等は58ページであり、総ページ数は204ページで、前回より約6パーセント減となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の別冊に、心に残った教材やその理由を記入する「心に残っている授業の記録」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、教材ごとに考えを広げたり、深めたりするための学習の流れを示す「考える・話し合う」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、「インターネット」マーク（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。